



2025年2月13日

各位

会社名 株式会社 T O R I C O
代表者名 代表取締役社長 安藤 拓郎
(コード番号: 7138 東証グロース市場)
問合せ先 専務取締役 鯉沼 充
(TEL. 03-6261-4346)

連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年5月13日に公表いたしました、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想につきまして、最近の業績の動向等を踏まえ、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。また、2025年3月期第3四半期連結会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,559	百万円 △67	百万円 △83	百万円 △85	円 銭 △56.79
今回修正予想 (B)	3,713	△244	△252	△289	△192.02
増減額 (B-A)	△845	△176	△169	△203	△135.23
増減率 (%)	△18.6	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2024年3月期)	3,897	△222	△224	△272	△223.64

2. 業績予想修正の理由

2025年3月期の通期連結業績予想において、コロナ禍の巣ごもり需要が終息した影響で、出版業界全体は再び縮小傾向にあります。特に当社の主力 EC サービスが位置する紙コミック市場では、引き続き市場の減速が見られ、大型ヒットタイトルの不在も影響して、当社 EC サービスの今期売上高はコロナ禍以前の水準にとどまっております。また、新規事業の立ち上げが予定通りに進んでおらず、売上への寄与が限定的となってしまいました。さらに、海外事業では市場拡大に注力し、海外企業と業務提携を開始したものの、業績に反映されるにはもう少し時間を要する見込みです。これらの要因から、通期の売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。

営業利益および経常利益については、第2四半期以降、「選択と集中」をテーマに不採算事業の再編を行い、収益性の低い店舗の閉店や人員配置の最適化を図るための組織再編を進めました。こ

れにより販管費の削減には成功したものの、売上の想定以上の伸び悩みや海外・新規事業への先行投資が重荷となり、前回予想を下回る結果が見込まれます。親会社株主に帰属する当期純利益についても、経常利益予想の変更に伴い見直しました。

3. 特別損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行ったマンガ展 名古屋及びマンガ展 台湾店舗の固定資産、原状回復費用等の減損損失として 29 百万円を特別損失に計上いたしました。特別損失につきましては、本日公表しました「2025 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」に反映しております。

(業績予想について)

上記の予想数値は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって上記予想値と異なる可能性があります。

以 上